

1. ヨギの中でも最高のヨギ、グルでもあるヴァースデヴェンドラ、知識を授ける者へ敬礼します。タットヴァボーダは、真理探究者の利益のために解説されています。

2. 私たちはこれから、悟りのための方法である、真理探究するにふさわしい4つの資質を持つ者に説明しましょう。

3. その4つの方法とは何でしょうか？ヴィヴェーカ（永遠のもの、永遠でないものを識別する能力）、ヴァイラーギヤ（今世、来世で、行為の結果を期待しないこと）、シャマーディシャッカサンパッティ（6つの内的豊かさ）、ムクシュットバ（悟りへの切望）です。

4. 永遠のもの、永遠でないものを識別する能力とは何でしょうか？リアリテイのみが永遠です。全て他のものは、はかないものです。それを確信することのみが、永遠のもの、永遠でないものを識別することです。

5. ヴァイラーギヤとは何でしょうか？今世、来世で、行為の結果を期待しないことです。

6. シャマーディシャッカサンパッティとは何でしょうか？シャマ、ダマ、ウパラティ、ティティクシャ、シュラッダー、サマーダーナです。

7. シャマとは何でしょうか？心のコントロールをマスターすることです。

8. ダマとは何でしょうか？目などの外的な感覚器官をコントロールすることです。

9. ウパラマとは何でしょうか？自らのダルマを厳密に観察することです。

10. ティティクシャとは何でしょうか？暑さ、寒さ、快楽、痛みに耐えることです。

11. シュラッダーの性質とはなんでしょうか？グルとヴェーダンタ（聖典）を信頼するのがシュラッダーです。

12. サマーダーナとは何でしょうか？マインドを一点集中させることです。

13. ムムクシュットヴァンとはなんですか？「私を悟らせてください」この強い願いが、ムムクシュットヴァンです。

14. これが4つの資質です。この資質を養った後、真理を追究するにふさわしくなります。

15. 真理の探究とは何でしょうか？真我が実在であり、その他のもの全ては、実在ではないと強く確信することです。

16. 真我とは何でしょうか？グロス、サトル、コーザルボディ以外のもので、5つの鞘を超えたところのものであり、3つの意識状態を目撃するものであり、存在、意識、至福の性質を兼ね備えたものが真我です。

17. ストゥーラ・シャリーラ（グロスボディ）とは何でしょうか？パンチーカラナのプロセスを経た五大要素によって作られたものです。過去のよい行いの結果として生まれたものです。喜びや悲しみを経験する場所です。存在し、生まれ、育ち、成熟し、衰え、死ぬ。これがグロスボディです。

18. スークシュマ・シャリーラ（サトルボディ）とは何でしょうか？粗雑化されない五大要素によって構成され、過去のよい行いから生まれ、喜びや悲しみなどを体験する道具であり、17のアイテムによって構成されている。17のアイテムとは、5つの感覚器官、5つの行動器官、5つのプラーナ、マインドと知性です。これがサトルボディです。

19. 5つの感覚器官とは、耳、肌、目、舌、鼻です。感覚器官に宿る神々とは、それぞれ、耳には空の神、肌には風の神、目には火の神、舌には水の神、鼻にはアシュヴィニクマラの神が宿っています。感覚器官の体験の場とは、それぞれ、耳には音の認知、肌には触覚の認知、目には形の認知、舌には味の認知、鼻には嗅覚の認知があります。

20. 5つの行動器官とは、話すこと、手、足、肛門、生殖器官です。行動器官に宿る神々とは、話すことには火の神、手にはインドラの神、足にはヴィシュヌの神、肛門にはヤマ（死神）、生殖器官にはプラジャーパティが宿っています。スピーチの機能とは話すこと、手の機能とは掴むこと、足の機能とは動くこと、肛門の機能とは排泄、生殖器官の機能とは快楽と生殖です。

21. カーラナシャリーラ (コーザルボディ) とは何ですか？

説明のできない、始まりのない、無知の形で、2つのボディ (グロスとサトル) のただ一つの原因であり、自分の本当の性質に無知であり、二元性から自由なもの。それがコーザルボディです。

22. 3つの状態とは何ですか？それらは、目覚めている状態、夢見の状態、深い眠りの状態です。

23. 目覚めの状態とは何ですか？耳のような感覚器官を通じて、音のような感覚の対象を体験する状態が、目覚めの状態です。グロスボディと同一視している真我は、ヴィシュワと呼ばれます。

24. 夢見の状態は何かという質問に対して。起きている間に見たこと、聞いたことから生まれた印象から、夢見の間に、世界が反映されていること、それが夢見の状態です。サトルボディと同一視された真我が、タイジャサと呼ばれます。

25. 深い眠りの状態とは何ですか？「私は何も知らなかった。とてもよく眠れた」と誰かが言うような状態が、深い眠りの状態です。コーザルボディと同一視している真我は、プラグニャと呼ばれます。

26. 5つの鞘とは何ですか？それらは、アンナマヤ、プラーナマヤ、マノーマヤ、ヴィツニャーナマヤ、そしてアーナンダマヤです。

27. アンナマヤコーシャとは何ですか？食べ物の基本的な要素から生まれ、食べ物の基本的な要素から育ち、地球に返っていき、食べ物の本質であるものが、食物鞘、またはアンナマヤコーシャです。

28. プラーナマヤコーシャとは何ですか？プラーナなどの、5つの生理学的機能、そして、話すなどの5つの行動器官を合わせたものが、プラーナマヤコーシャです。

29. マノーマヤコーシャとは何ですか？マインドと5つの感覚器官を合わせたものがマノーマヤコーシャです。

30. ヴイツニャーナマヤとは何ですか？知性と5つの感覚器官を合わせたものが、ヴィツニャーナマヤです。

31. アーナンドマヤコーシャとは何ですか？無知の中に確立され、コーザルボディの形をとり、不純な性質を持ち、「好き」などの考えとつながっているのがアーナンドマヤコーシャです。これらが5つの鞘です。

32. ブレスレットや、イヤリング、家、などのように、「私のもの」と知られるものは、「私」である知る者とは違うものである。（真我は「私」であり、「私のもの」とは違う）5つの鞘なども、「私」ではない。「私」として知られる、私の体、私のプラーナ、私のマインド、私の知性、私の無知も、ゆえに、真我ではない。

33. では、真我とは何でしょうか？存在（サット）、意識（チット）、至福（アーナンド）の性質を備えたものです。

34. 存在（サット）とは何ですか？3つの時（過去、現在、未来）に、変わることなくあるものが、存在です。

35. 意識（チット）とは何でしょうか？絶対的な知識の性質を持つものです。

36. 至福（アーナンド）とは何でしょうか？絶対的な幸福感の性質をもつものです。

37. 人は、自分自身を、存在（サット）、意識（チット）、至福（アーナンド）の性質であると知らなければなりません。

38. では、今から、24の要素の進化を説明しましょう。

39. ブラフマンに依存して、サットヴァ、ラジャス、タマスの3つの性質を持つマヤは存在している。

40. そのマヤから、空間が生まれ、空間から空気が生まれ、空気から火が生まれ、火から水が生まれ、水から地球が生まれた。

4 1. 五大要素のうち、空間のサトヴィックな側面から、聞く組織である耳が進化した。空気のサトヴィックな側面から、触れる組織である肌が進化した。火のサトヴィックな側面から、見る組織である目が進化した。水のサトヴィックな側面から、味の組織である舌が進化した。地球のサトヴィックな側面から、嗅ぐ組織である鼻が進化した。

4 2. これらの5つの要素のサトヴィックな面から、内的器官である、マインド、知性、エゴ、そして記憶が作られた。マインドの性質は優柔不断であること。知性の性質は、決定すること。エゴの性質は概念と行為者という感覚。記憶は、考えることや思い出すこと。マインドを司る神は月、知性はブラフマン、エゴはルドラー、記憶はヴァースデーバである。

4 3. 5つの要素の中で、空間のラジャスな面から、話す器官である口が生まれた。空気のラジャスな面から、つかむ器官である、手が生まれた。火のラジャスな面から、移動する器官、足が生まれた。水のラジャスな面から、繁殖の器官である生殖器が生まれた。地球のラジャスな面から、排泄の器官である肛門が生まれた。

4 4. これら5つの要素のタマスな面から、5つの粗雑化した要素が生まれた。このパンチーカラナがどのようにして起こるのかと聞かれたら、次のようである。

1. 5つの要素の各々のタマスな要素が、2つに分かれる。
2. 分かれた半分は、それぞれ、そのままの状態に残る。
3. あとの半分は、他のそれぞれの4つの要素に分配される。
4. そのままの状態が残っていた半分に、他のそれぞれの要素の8分の1の部分が統合される。
5. そして、パンチーカラナが完成する。

4 5. これら5つの粗雑化した要素から、グロスボディが形成される。

4 6. このように、小宇宙（ピンダンタ）と大宇宙（ブラフマーンダ）の間にアイデンティティがある。

4 7. ブラフマンの反映が、グロスボディと同一視されると、ジーヴァ（個）と呼ばれる。ジーヴァの性質上、イシュワラ（神）と自分は別物であると考えられる。

48. 無知（アヴィッデャー）によって意識（アートマ）が条件付け（ウパーディ）されると、ジーヴァと呼ばれる。

49. マヤに条件づけされた意識は、イシュワラと呼ばれる。

50. ジーヴァとイシュワラが違うものだという条件付けの中にいる限り、生と死を繰り返すサムサーラからの救出はない

51. その理由から、ジーヴァはイシュワラとは違うという概念を受け入れてはいけない。

52. 疑問：しかし、ジーヴァは、エゴがあり、知識は制限されている。イシュワラはエゴがなく、全知である。では、マハーヴァツキヤの中で証言されているタットヴァンアシ（あれはあなたである）のように、なぜこれらの矛盾する性格のものが同じであることが可能なのでしょうか？

53. いいや。そうではない。Twan（あなた）の文字通りの意味は、グロスとサトルボディを自分だと思ふ者（ジーヴァ）のことを指す。Twan（あなた）の含まれた意味は、純粹意識を指し、全ての条件付けから自由であり、サマーディ（悟り）の状態にいるもののことを言っているのだ。

54. そして、tat（あれ）の文字通りの意味も、全知の神、イシュワラである。tat（あれ）の含まれた意味は、全ての条件付けから自由な純粹意識を指している。

このように、ジーヴァとイシュワラの間には、意識の立場から見ると、矛盾がない。

55. このように、サッドグルから伝えられたヴェーダンタの言葉（教え）によって、全ての存在の中にいるブラフマンの知識が生まれた人のことをジーヴァンムクタ（生きながらにして悟った人）という。

56. では、ジーヴァンムクタとは具体的にどんな人なのですか？

ちょうど、誰かが「私は肉体である」「私は男だ」「私はブラーミンだ」「私はシュードラだ」と強い信念を持っているのと同じく、「私はブラーミンではない」「私はシュードラではない」「私は男ではない」しかし、「私は執着の

ない、サットチットアーナンダの性質を持つ、光り輝く、全てに偏在する、形のない、意識である」という強い確信をアパロクシャニャーナ（直接的な知識）によって得た者がジーヴァンムクタである。

57. 「私はブラフマンである」ということを、人は、アパロクシャニャーナによって理解し、全てのカルマの束縛から自由になる。

58. もし、何種類のカルマがあるのか、と聞くならば、答えは、3つ。アガミ、サンチタ、プラーラブダである。

59. 知識を得た後、ニャーナ（賢者）の体を通じて行った行為のいい、悪い結果をアガミと呼ぶ。

60. サンチタカルマとは何ですか？

全ての過去生の中で行われた行為の結果が種となり、将来に起こる終わりのない生を生み出す。これをサンチタカルマ（蓄積されたカルマ）と言う。

61. プラーラブダカルマは何かと聞くならば。この体に生を与え、まさにこの世界に結果をもたらし、幸せや不幸を形作り、それを楽しんだり、苦しんだりすることによって解消される。それがプラーラブダカルマである。

62. サンチタカルマは、「私はブラフマンである」という知識によって解消される。

63. アガミカルマもニャーナ（知識）によって壊される。そして、ニャーナ（賢者）は、アガミカルマには影響を受けない。ちょうど、水に浮かぶ蓮の花が、水に影響を受けないのと同じで。

64. 加えて、そのニャーナを崇拜し、ほめたたえることで、ニャーナが行ったよい行為の結果が、その者のところへ行く。

ニャーナを騙したり、嫌悪したり、痛みや悲しみを引き起こす者のところには、ニャーナが行った罪深い行為の結果が行く。

65. このように、真我を知る者は、サムサーラを渡り、この世で至上の至福を達成する。シュルティは、このように明言する。「真我を知る者は、全ての悲しみを超越する」

66. ニヤーニ (真我を知る者) の体をカシ (現在のヴァラナシ 聖なる場所) に投げ込まれようと、犬を食べる家 (モラルのない家) に投げ込まれようと、どちらも取るに足りないことだ。なぜなら、(真実の) 知識を得た時に、彼は全ての行為の結果から自由になっているのだから。